

新しい資本主義，新しい産業政策

RIETI 矢野 誠

2022年3月15日

RIETI - JRI 共催ウェビナー

RIETI シンポジウム

デマンド・ドリブンの脱炭素経済に
ご参加いただき、ありがとうございます

なぜ、デマンド・ドリブンか

新しい資本主義と市場の質理論

- 岸田首相の政策理念 （文芸春秋2022年2月号）
 - 成長と分配の好循環の達成 将来の世代への安定的な分配の実現
 1. 人的資本への投資
 2. デジタルプラットフォーム, デジタル田園都市国家
 3. スタートアップの活性化
 4. 大胆な投資, 半導体
 5. 気候変動
 - 適切な分配が成長をけん引する
- 市場の質理論
 - 経済の健全な発展・成長は高質な市場に支えられる
 - 市場の質： 資源配分の効率性 + 取引過程の公正性
成長 + 分配

健全な発展成長の必要性

BBC

**How Japan's new PM is promising a
'new capitalism'**

アジアビジネス担当： Mariko Oi

一人当たり賃金率

日本：38515ドル

韓国：41960ドル

フランス：45581ドル

イギリス：47147ドル

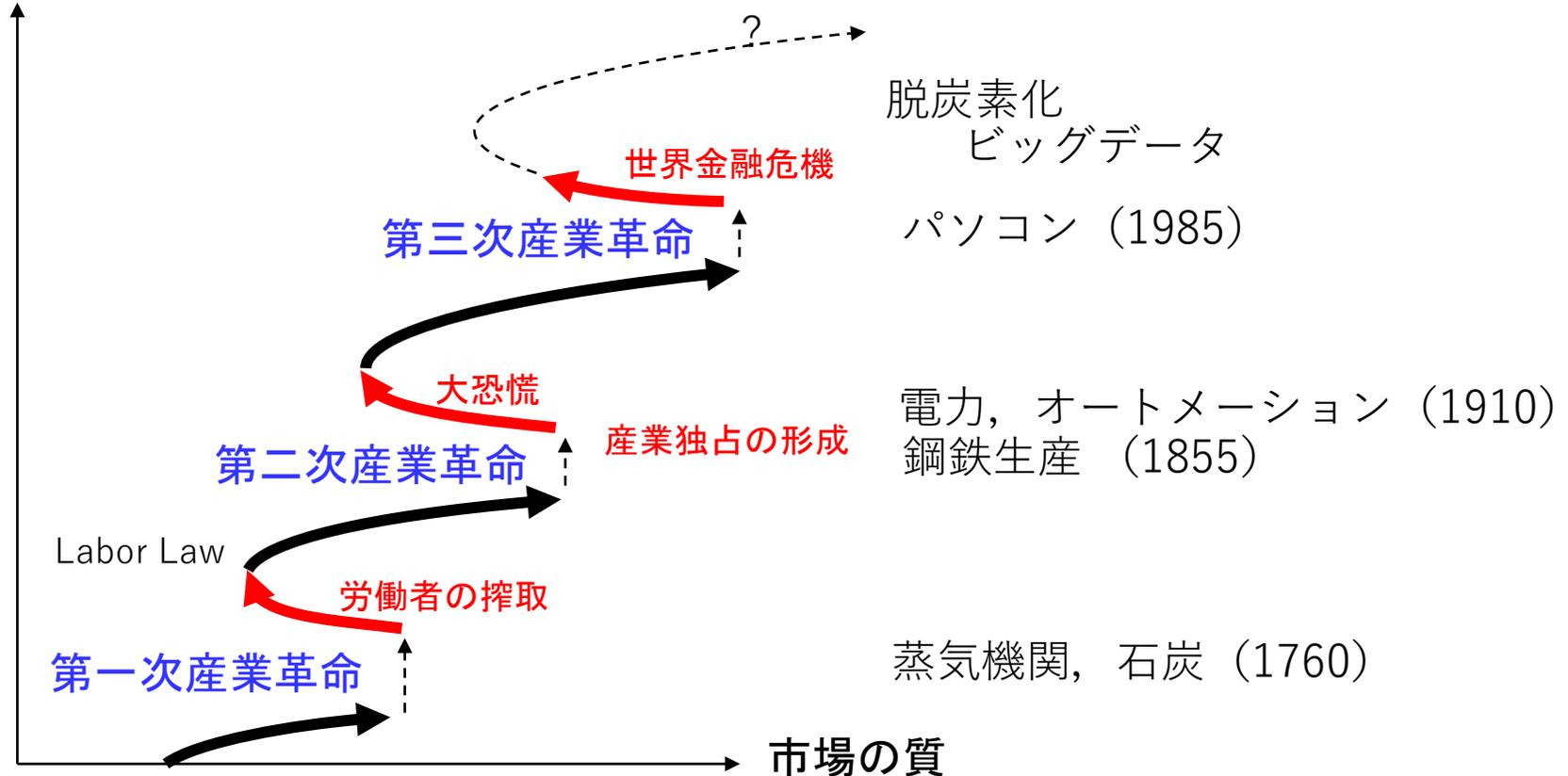
ドイツ：53745ドル

アメリカ：69392ドル

市場の質と産業革命サイクル

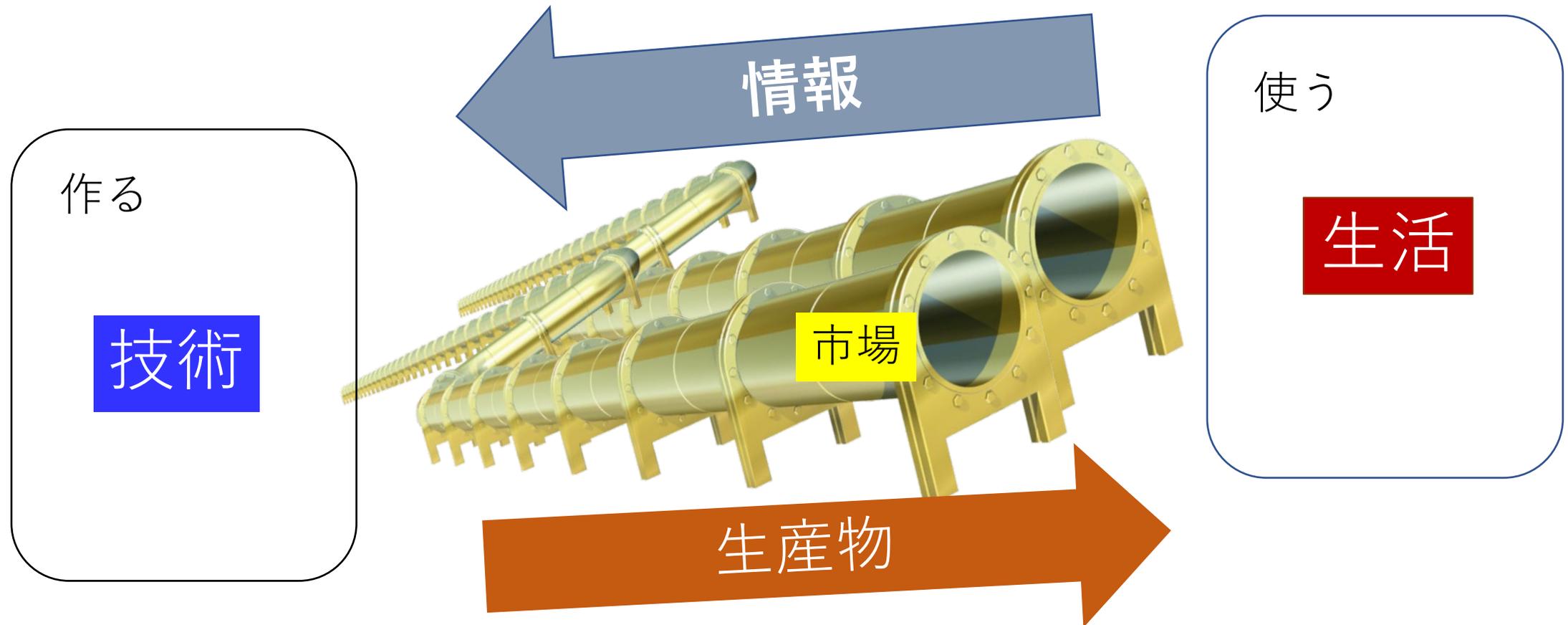
取引過程の公正性の低下：さまざまな経済問題を生んできた
高質な市場の形成が大規模な技術革新の時代を作った

本源的生産性（技術・知識）



市場の質と デマンドドリブンのイノベーション

市場は双方法型パイプ



旧来の産業政策, 新しい産業政策

幼稚産業の保護

- キャッチアップ

- 学習時間の短縮

- 独立戦争後のアメリカ,
 - 高度成長期の日本,
 - その後の発展途上国
 - 20世紀末以降の中国

- 経済理論

- 外部性の理論による幼稚産業保護

- 最先端技術の開発

- 開発時間の短縮

- コンピュータ, PC
 - 原子力
 - 宇宙開発
 - インターネット

- 経済理論 (根岸隆氏)

- 費用逡減・収穫逡増

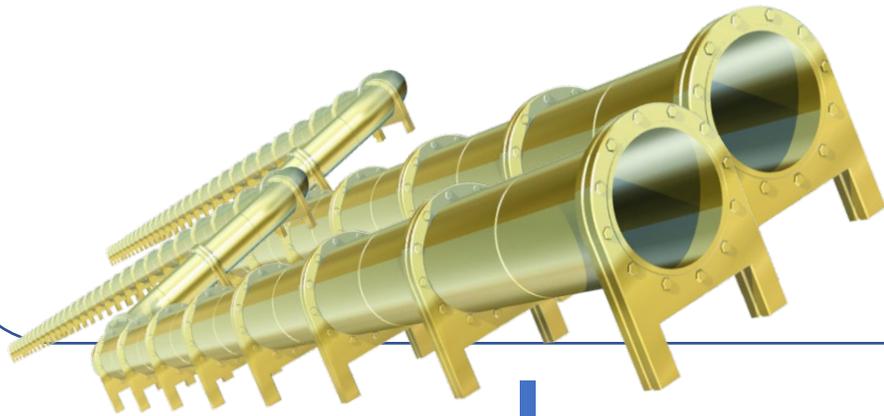
- 20世紀後半以降の経済学的知見

新しい産業政策：成功の条件

技術革新：コンピュータ，原子力，宇宙，PC，インターネット

高質な市場を形成できた経済

20世紀終わりからのアメリカ・イギリス



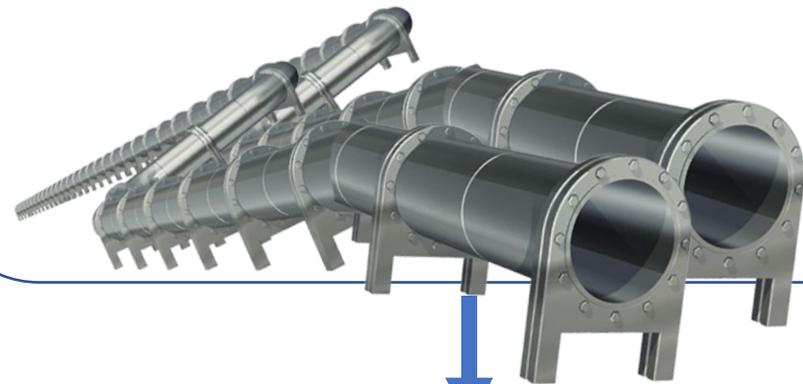
発展・成長

高質な市場を形成できない経済

ソビエト

20世紀中ごろのアメリカ・イギリス

20世紀後半以降の日本



停滞

取引過程の公正性

- 市場には取引のルールが存在
 - 市場には，長年にわたって培われてきた市場を有効利用するための取引のルールが存在する
 - 市場にとって最も重要なルールは無差別性原則
 - ルール破り = 不公正な活動
- どんな経済活動にも，適切なりターンが必要
 - 偏りのない分配
 - 高質な市場では，偏りのない分配が行われる

これからの技術革新：脱炭素

- 本日のシンポジウム：デマンド・ドリブンの脱炭素経済
- 基調講演
 - 瀧口信一郎氏（日本総合研究所），エネルギー政策，ビジネスモデル
- パネルディカッション
 - 木村俊作氏（京都大学），大学発のオープンイノベーション
 - 和田憲一郎氏（日本電動化研究所），三菱自動車の電動自動車開発
 - 金井司氏（三井住友信託），カーボンファイナンスについて

RIETIの活動スコープのバージョンアップ

- 4月よりEBPMセンターの設置
 - 新しい産業政策に関する政策評価に関する基本原理の研究